

本人確認アシストAPI

ついに
法人回線契約者
にも対応

テレワーク・セーフティーログインパッケージ

ドコモで契約中の携帯電話の法人番号と電話番号を連携して、従業員の社内システム（イントラネットや社外クラウド型サービス等）へのモバイルアクセス時のセキュアかつ利便性の高いログインを実現します。モバイルでの社内システムへのログインを実現して、テレワーク導入をサポートします。

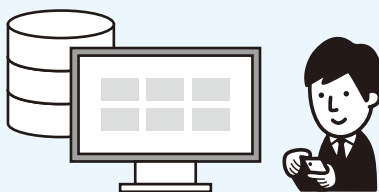
※法人番号：日本の国税庁が指定する13桁の識別番号

SMS認証や
ワンタイムパスワード
なしに2段階認証・
2要素認証を実現

高い
セキュリティ

従業員の
利便性向上

導入企業



導入企業の従業員

従業員のモバイルアクセス時の
ログインが簡単かつ迅速に

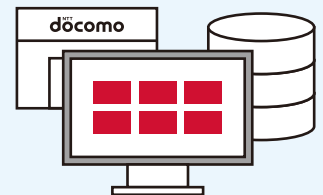
本人確認アシストAPI

テレワーク・セーフティー
ログインパッケージ



API連携

ドコモ



ドコモの契約者情報

ドコモで契約中の
法人番号と携帯電話番号を連携

本人確認アシストAPI テレワーク・セーフティーログインパッケージを導入すると…

モバイルアクセス時のログインを実現



モバイルでのテレワークを実現するために、社内システムへアクセスする際の認証ソリューションを導入したい

従業員の
利便性
向上

ドコモのログイン連携を用いて、社内システムへの簡単なログインを実現

認証時の高いセキュリティを実現



社内システムのアクセス時、利便性を損なわず、セキュアな認証を実現したい

認証時の
セキュリティ
向上

ドコモの回線認証限定で2要素認証を実現
法人番号の認証で特定の企業にアクセスを限定

※本チラシの内容は2021年12月現在のものです。

サービスの詳細は裏面をご確認ください



NTTドコモ 本人確認アシストAPI

<https://www.nttdocomo.co.jp/biz/service/kyc/>

本人確認アシストAPI

検索



※「本人確認アシストAPI」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。掲載されている内容・サービスなどは予告なしに変更になる場合があります。本チラシから許可なく転記、複写することを固く禁じます。 ©NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

— 導入効果 —

■他社認証ソリューション



課題: 2段階認証時、別のアプリケーションを起動する必要があり利便性が低下。

■本人確認アシストAPI テレワーク・セーフティーログインパッケージ



効果1 セキュリティ向上

回線認証で2要素認証を実現。アクセスした法人契約回線の法人番号を確認し、外部からのアクセスを排除。

効果2 利便性向上

携帯電話番号で従業員を特定し、ID/パスワードの入力を省略しログイン可能に。

効果: 従業員サイトから別のアプリケーションを立ち上げることなく、シームレスに認証でき、利便性が向上。

— 「回線認証」とは —

回線認証とは、ドコモで契約中のモバイル回線(3G/LTE/5G)でアクセスのうえ、4桁のネットワーク暗証番号にて認証する方法です。

認証方法を回線認証に限定する「**回線認証限定オプション**」を利用することで、**回線認証(所有物認証) + ネットワーク暗証番号(知識認証)**の2要素認証を実現できます。

回線認証限定オプションを利用すると…

ドコモ回線(3G/LTE/5G)に接続したスマートフォン/タブレットなど



認証可

Wi-Fiおよびその他の回線に接続したスマートフォン/タブレットなど



認証不可

Wi-Fiおよびその他の回線に接続したパソコン



認証不可

携帯電話事業者だからこそ提供できる「回線認証」 2要素認証を実現して、従業員の手間を削減

